

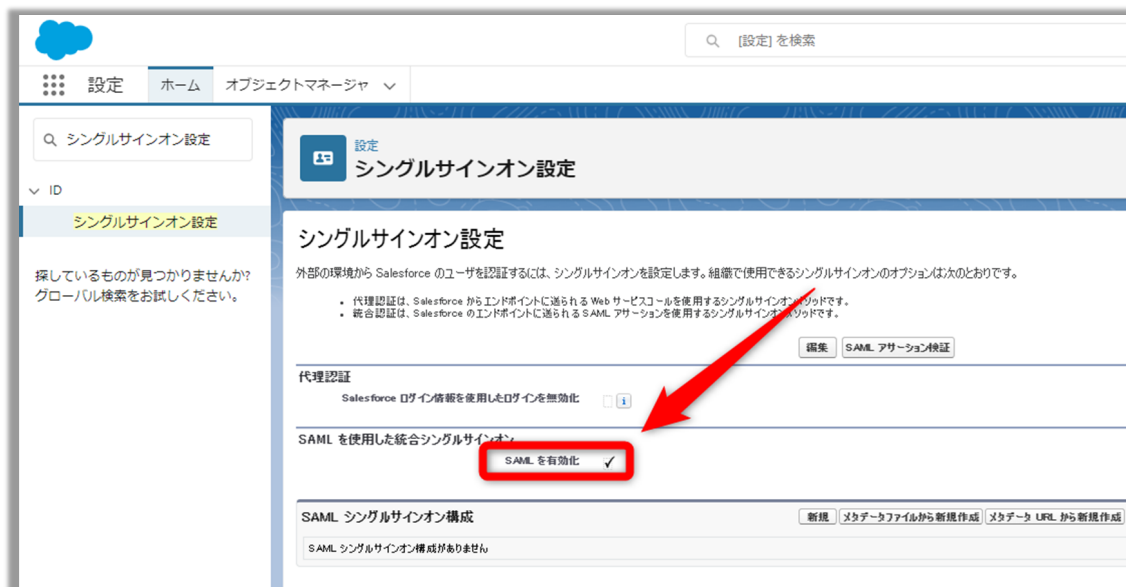
# 【bellSalesAI】 SAML認証の設定手順書<IdP：Salesforce>



本資料は、SAML認証（IdPをSalesforceとしてbellSalesAIのシングルサインオン機能を利用する場合）の初期設定手順書です。

## 手順①. SalesforceでSAMLを有効化する

1. Salesforceにアクセスし、[設定] > [ID] > [シングルサインオン設定] を開きます。
2. 「SAMLを使用した統合シングルサインオン」にて、「SAMLを有効化」にチェックがついているかをご確認ください。



### 補足

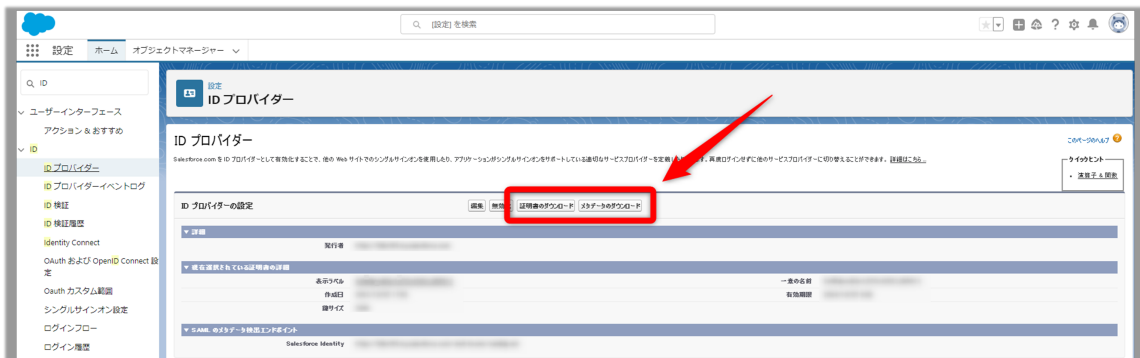
- チェックがついていない場合は、[編集] をクリックし「SAMLを有効化」にチェックをつけて保存をおこなってください。

## 手順②．証明書とメタデータを取得する

1. Salesforceにアクセスし、[設定] > [ID] > [IDプロバイダー] を開きます。
2. [IDプロバイダを有効化] をクリックします。



3. [証明書のダウンロード] および [メタデータのダウンロード] をクリックし、証明書データ (.crtファイル) とメタデータ (.xmlファイル) をダウンロードします。



## 手順③．Salesforceで新規接続アプリケーションを作成する

1. Salesforceにアクセスし、**[設定]** > **[アプリケーションマネージャー]** > **[新規接続アプリケーション]** を開きます。
2. 各項目に以下の値を入力します。

### ● <基本情報>

- 「**接続アプリケーション名**」：
  - 任意の値を入力します。
- 「**API 参照名**」：
  - 任意の値を入力します。
- 「**取引先責任者 メール**」：
  - Salesforceサポートチームとやりとりをおこなうメールアドレスを入力します。
  - 本設定においてお困りごとがあった際はbellFace社からSalesforceサポートチームへご確認いたしますので、[ **bs\_support@bell-**

**face.com**] とご入力ください。

• <Webアプリケーション設定>

- 「SAMLの有効化」：
  - チェックを入れます。
- 「エンティティ ID」：
  - 当社よりご連絡いたします。
- 「ACS URL」：
  - 当社よりご連絡いたします。
- 「件名種別」：
  - 「永続ID」を選択します。
- 「名前 ID 形式」：
  - 「urn:oasis:names:tc:SAML:2.0:nameid-format:persistent」を選択します。
- 「発行者」：
  - 「https:// (Salesforceの組織名) .my.salesforce.com」の形式になっているかご確認ください。
    - 組織名の確認方法
      - 設定 > 組織情報 > 組織名 にてご確認ください。
- 「IdP 証明書」：
  - 「手順②」で証明書とメタデータをDLしたIDプロバイダー を選択します。
    - 【設定】 > 【ID】 > 【ID プロバイダー】 画面の 【表示ラベル】 にてご確認ください。

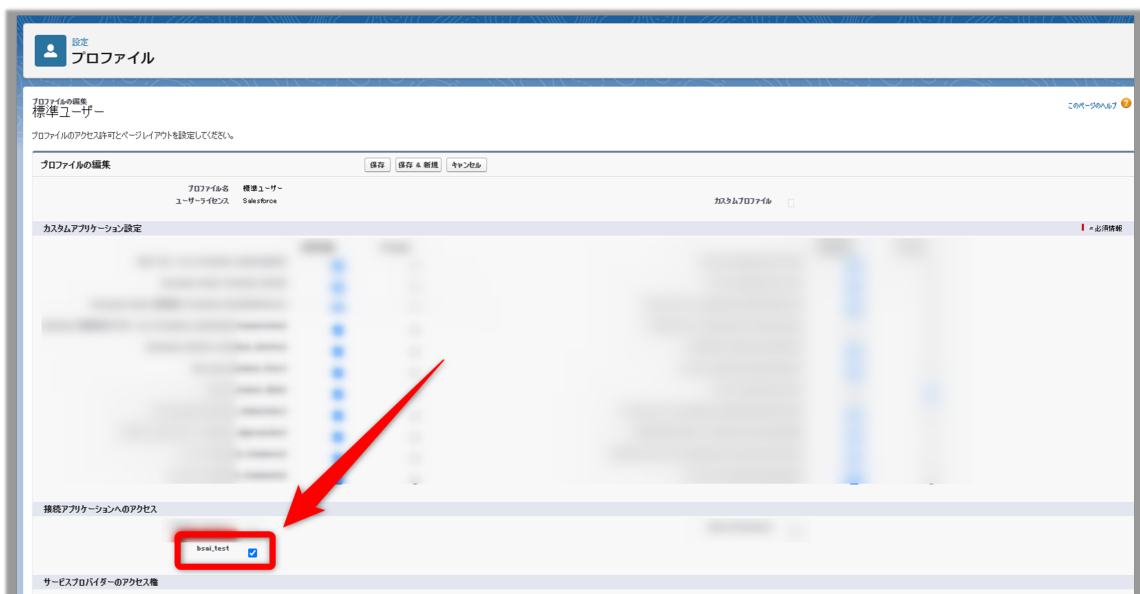


3. [保存] をクリックします。

## 手順④. Salesforceで権限付与をおこなう

「手順③」で作成した接続アプリケーションを各ユーザーが利用できるよう、権限を付与します。

1. Salesforceにアクセスし、[設定] > [ユーザー] > [プロファイル] にて権限を付与したいプロファイルの[編集] をクリックします。
2. 項目「接続アプリケーションへのアクセス」にて、「手順③」で作成した接続アプリケーションにチェックを入れます。



3. [保存] をクリックします。

## 手順⑤. 取得したデータをベルフェイス担当者へ送付する

「手順②」で取得した以下2点のデータを弊社担当者へお送りください。

- 証明書データ (.crtファイル)
- メタデータ (.xmlファイル)

お送りいただいたデータをもとに、弊社にてお客様の環境設定を行います。



### 補足

- ご利用環境が準備でき次第、弊社担当者よりご連絡いたします。

## 手順⑥. シングルサインオンでbellSalesAIにログインする（アカウントの発行）

SSOでのログイン方法は以下のサポートページをご確認ください。

>>[SAML認証（SSO）でログインする](#)